

令和6年8月22日

発注者責任を果たすための今後の建設生産・管理システムのあり方に関する懇談会  
維持管理部会（令和6年度 第1回）

資料4

# 【報告】道路除雪工における積算方法の改善

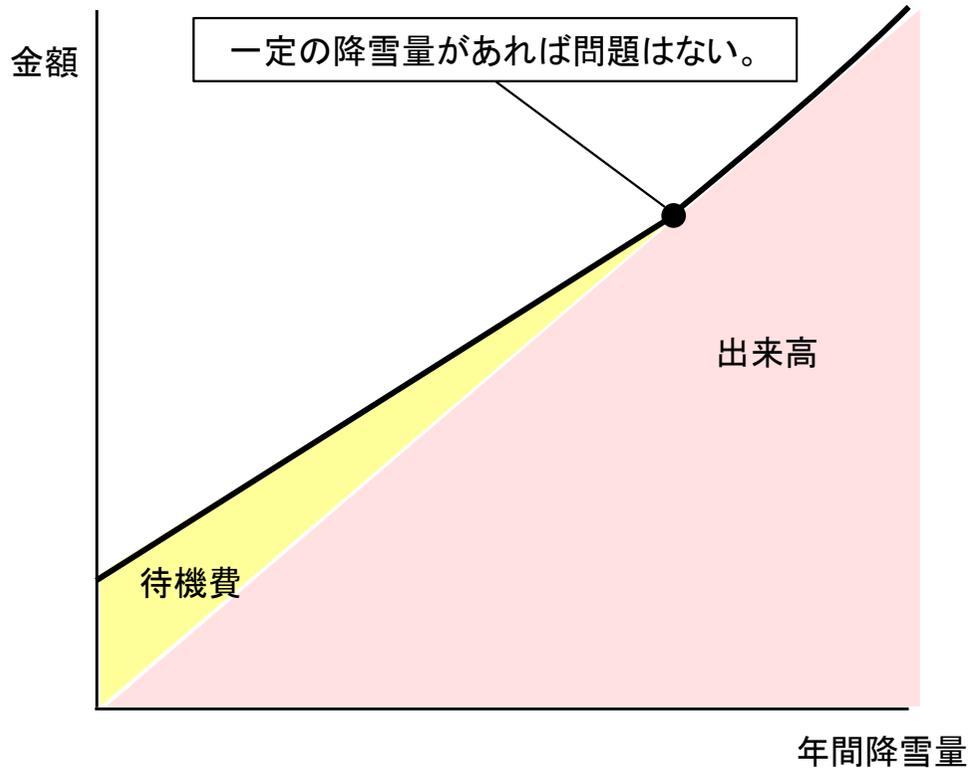
---

# 道路除雪工の積算改定のイメージ

○ 令和3年度から、道路除雪工において、少雪時においても固定的に発生する経費を計上可能な積算方法を試行。

## ■ <現状の積算>

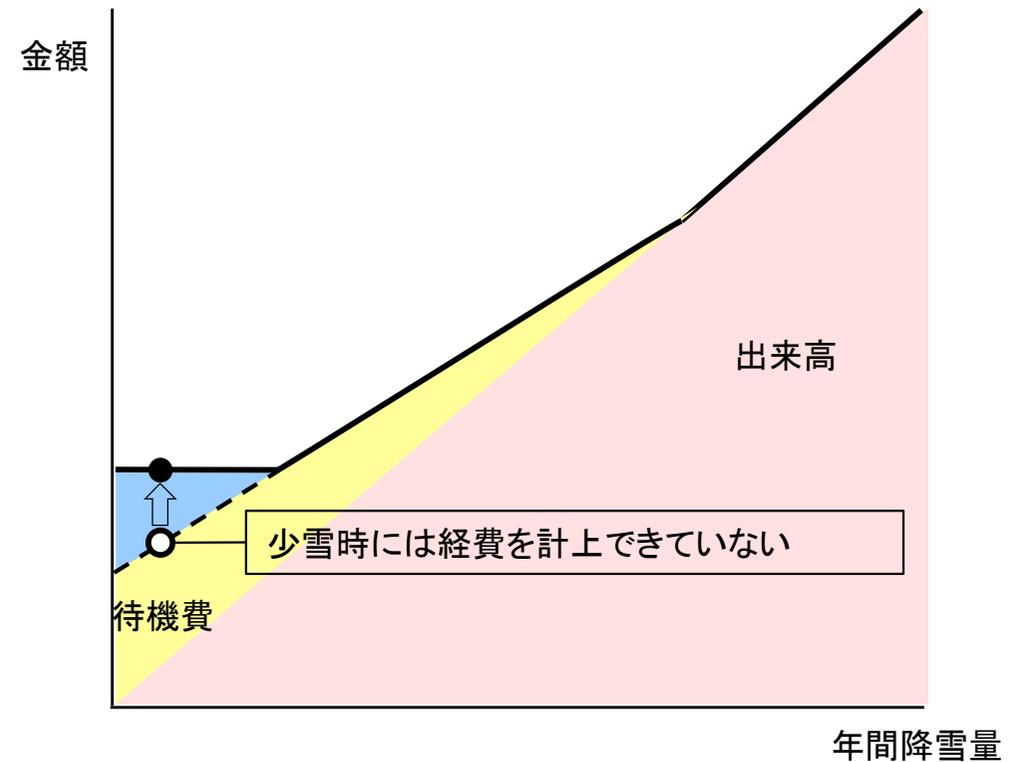
- ・待機費+出来高を支払う



— 待機費+出来高による支払ライン

## ■ <少雪時における積算イメージ>

- ・少雪時においても固定的に発生する経費を積算(精算時)に計上する



— 少雪時における支払ライン  
 - - 待機費+出来高による支払ライン

※図表は金額の大きさを含めてイメージ

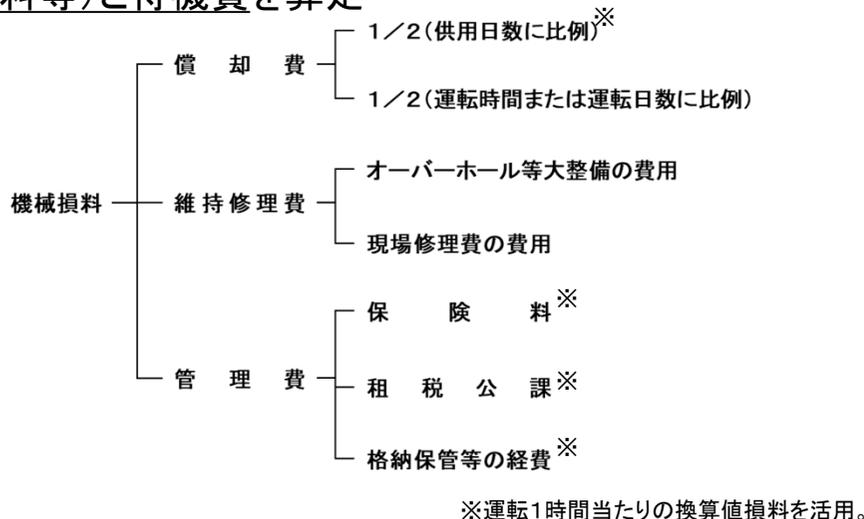
# 少雪時における除雪工事の積算(精算時)の試行内容

○ 除雪機械の機種や台数に応じて固定的経費(①直接工事費分+②間接工事費分)を計上

## ①直接工事費

### <現行>

○ 除雪機械の運転時間または運転日数に応じて、出来高(機械損料等)と待機費を算定



### <試行案>

○ 下記で算定する固定的経費より、左記で算定した経費が大きい場合  
⇒ 現行のまま

○ 下記で算定する固定的経費より、左記で算定した経費が小さい場合  
⇒ 下記により機械損料の固定的経費を算定

$$\text{固定的経費} = \Sigma(K \cdot D)$$

K: 除雪機械の機種や台数ごとに、償却費(1/2)と管理費(保険料、租税公課、格納保管等経費)を積み上げ(円/日)  
D: 除雪体制確保期間【除雪機械の確保期間】(日)

## ②間接工事費

直接工事費に対応した間接工事費<sup>※1</sup>を率計算から計上<sup>※2</sup>

※1: 除雪機械の機種や台数に応じて、その管理に要する準備費、営繕費、労務管理費、従業員給料手当などを計上することになる。

※2: 間接工事費 = 共通仮設費 + 現場管理費 + 一般管理費等

共通仮設費 = 直接工事費 × 共通仮設費率

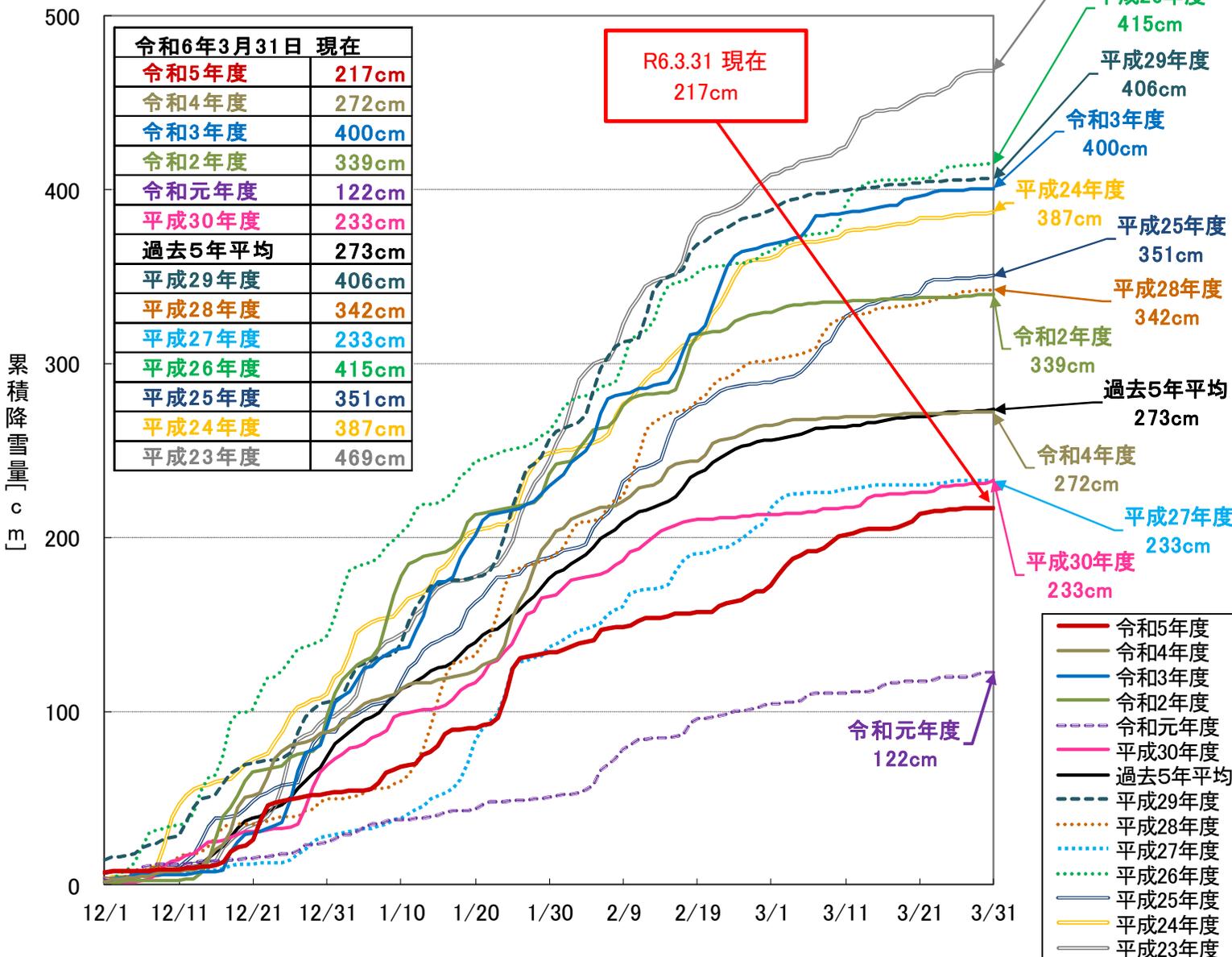
現場管理費 = (直接工事費 + 共通仮設費) × 現場管理費率

一般管理費等 = (直接工事費 + 共通仮設費 + 現場管理費) × 一般管理費等率

(除雪機械を発注者から無償貸与している場合は、直接工事費は無償貸与機械評価額を対象)

## 令和5年度降雪状況(累積降雪量)

【全国平均】



## 道府県別累積降雪量

単位: cm

| 道府県  | 令和5年度<br>(A) | 過去5年<br>平均(B) | 比較      |         |
|------|--------------|---------------|---------|---------|
|      |              |               | (A)-(B) | (A)/(B) |
| 北海道  | 333          | 300           | 33      | 1.11    |
| 青森県  | 352          | 380           | -28     | 0.93    |
| 岩手県  | 235          | 301           | -66     | 0.78    |
| 宮城県  | 210          | 335           | -125    | 0.63    |
| 秋田県  | 295          | 465           | -170    | 0.63    |
| 山形県  | 298          | 476           | -178    | 0.63    |
| 福島県  | 339          | 577           | -238    | 0.59    |
| 栃木県  | 230          | 232           | -2      | 0.99    |
| 群馬県  | 282          | 295           | -13     | 0.96    |
| 長野県  | 298          | 290           | 8       | 1.03    |
| 新潟県  | 349          | 410           | -61     | 0.85    |
| 富山県  | 148          | 252           | -104    | 0.59    |
| 石川県  | 81           | 98            | -17     | 0.83    |
| 岐阜県  | 344          | 309           | 35      | 1.11    |
| 福井県  | 91           | 155           | -64     | 0.59    |
| 滋賀県  | 109          | 113           | -4      | 0.96    |
| 京都府  | 121          | 110           | 11      | 1.10    |
| 兵庫県  | 113          | 233           | -120    | 0.48    |
| 鳥取県  | 86           | 130           | -44     | 0.66    |
| 島根県  | 92           | 118           | -26     | 0.78    |
| 岡山県  | 90           | 156           | -66     | 0.58    |
| 広島県  | 236          | 277           | -41     | 0.85    |
| 山口県  | 104          | 66            | 38      | 1.58    |
| 全国平均 | 217          | 273           | -56     | 0.79    |
| 内地平均 | 208          | 271           | -63     | 0.77    |

黄字: 過去5年平均以上2倍未満

赤字: 過去5年平均2倍以上

※データは道路管理用に道府県で観測した積雪寒冷地域における指定雪量観測点(103地点)の平均値  
 ※「過去5年平均」とはH30~R4年度の平均値

※平成23、24、25、26、29年度、令和2、3、4年度は豪雪により臨時市町村道除雪費補助を実施。

(少雪時における道路除雪工の固定的経費の積算方法について(試行))

- 持続的な除雪体制を確保・維持するため、少雪の年でも必要となる固定的経費を計上する取組として、令和3年度より「少雪時における道路除雪工の固定的経費の積算方法について(試行)」を開始
- 令和4年度実績調査により固定的経費の現状把握し、今後の本試行の積算方法の検討
- 北海道開発局の試行対象工事が多いが、**全国で試行が実施されている現状**

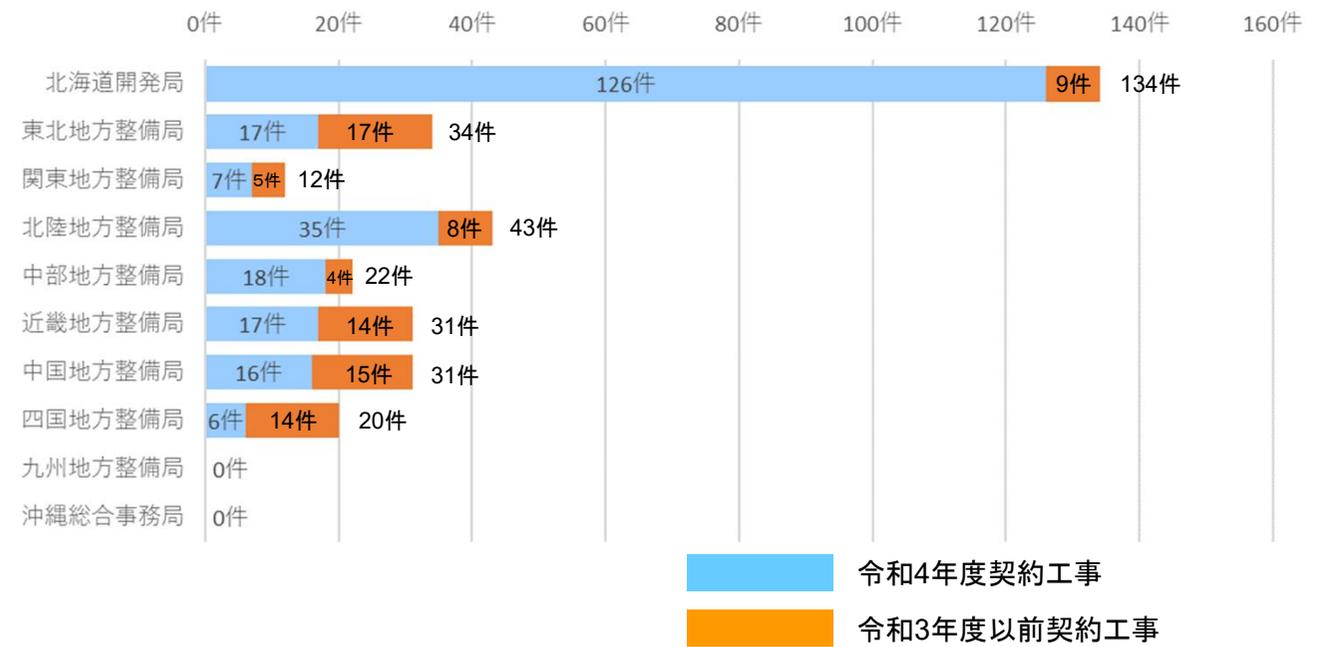
①調査対象

令和4年度施工中工事のうち、固定的経費の積算方法に関する試行の対象となった工事 (港湾空港工事・営繕工事は除く)  
 なお、令和4年度契約工事だけでなく、国債工事等の令和3年度以前に契約した工事でも試行の対象となった工事も対象としている。

②調査対象件数：327件

■ 固定的経費の積算方法に関する試行の対象となった工事 (令和4年度施工中)

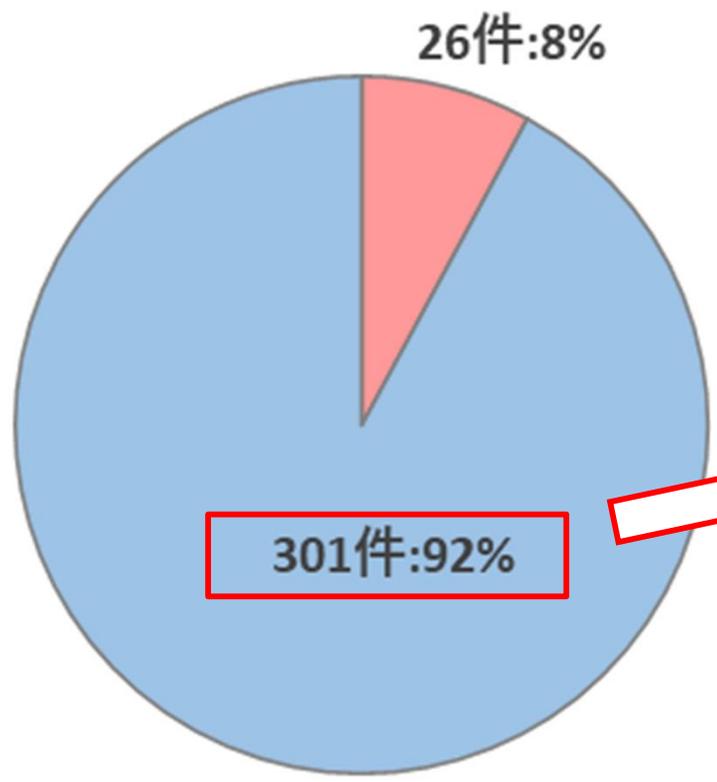
| 整備局名    | R4件数 | R3以前件数 | 合計   |
|---------|------|--------|------|
| 北海道開発局  | 126件 | 8件     | 134件 |
| 東北地方整備局 | 17件  | 17件    | 34件  |
| 関東地方整備局 | 7件   | 5件     | 12件  |
| 北陸地方整備局 | 35件  | 8件     | 43件  |
| 中部地方整備局 | 18件  | 4件     | 22件  |
| 近畿地方整備局 | 17件  | 14件    | 31件  |
| 中国地方整備局 | 16件  | 15件    | 31件  |
| 四国地方整備局 | 6件   | 14件    | 20件  |
| 九州地方整備局 | 0件   | 0件     | 0件   |
| 沖縄総合事務局 | 0件   | 0件     | 0件   |
| 合計      | 242件 | 85件    | 327件 |



- 試行対象工事のうち、約92%が固定的経費積算の試行の希望をしていない。
- 試行の希望無しのうち、令和4年度は約98%が降雪量が多いという理由で、固定的経費積算の試行の希望を行っていない。

■分析①  
固定的経費の積算試行の希望の有無

【全数:327件】

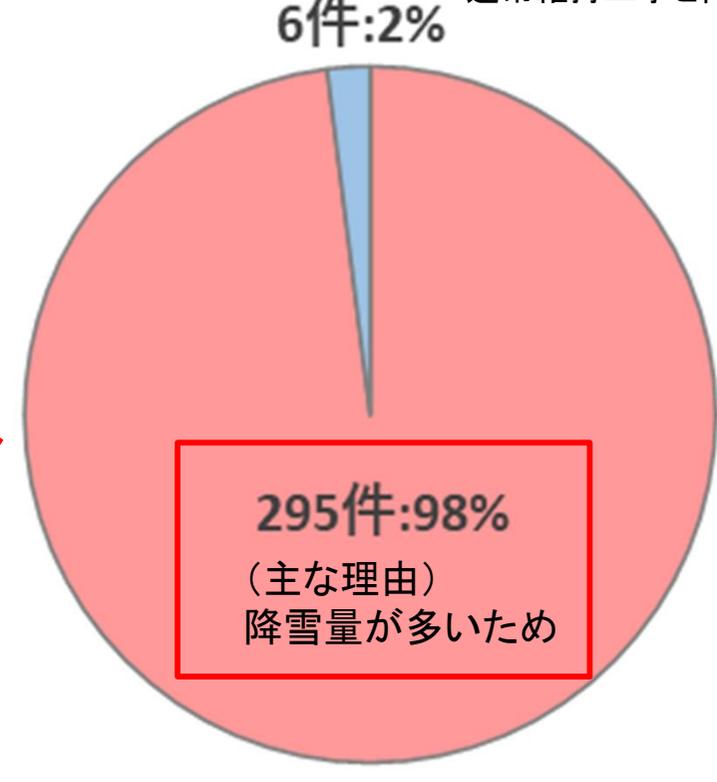


■ 希望有り      ■ 希望無し

■分析②  
分析①で希望無しを選択した理由

【全数:301件】

(主な理由)  
通常維持工事と体制を兼ねるため



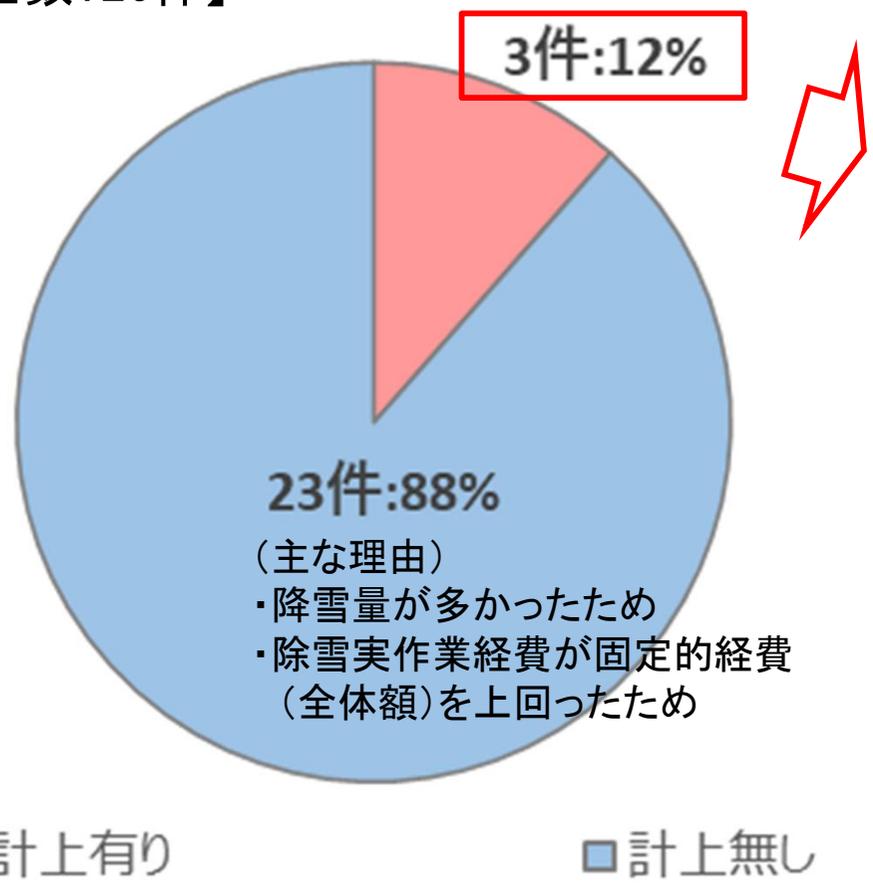
■ 降雪が多い      ■ 左記以外

- 固定的経費の積算試行の希望有りのうち、実際に固定的経費の計上した工事は全国で3件。
- 残り23件(約88%)は、降雪量が多く計上していない。

■分析③

固定的経費の積算試行の希望有り(26件)のうち、固定的経費の計上の有無

【全数:26件】



■固定的経費計上工事

| 地整名 | 施工地域 | 工事種別 |
|-----|------|------|
| 近畿  | 奈良県  | 維持工事 |
| 四国  | 徳島県  | 維持工事 |
| 四国  | 徳島県  | 維持工事 |

- 令和4年度は降雪量が多いため、実際に固定的経費の計上した工事は、いわゆる積雪地でない地域で使用されている状況。
- 固定的経費の積算計上額は、21～78万円程度である。
- 今回、固定的経費の対象とする除雪機械は凍結防止剤散布装置用の除雪トラックであり、機械1台あたり11～26万円である。

■ 固定的経費計上工事の概要 ※計上工事は、全て令和3年度契約工事

| 地整名 | 施工地域 | 工事種別 | 固定的経費の対象とする除雪機械の台数(台) | 通知で定義された「固定的経費(全体額)」の算出結果(万円)(税抜き) | 除雪実作業経費(出来高分)及び除雪待機費の合計額(万円)(税抜き) | 固定的経費の積算計上額(万円)(税抜き) | 1台当たりの固定的経費の積算計上額(万円/台)(税抜き) |
|-----|------|------|-----------------------|------------------------------------|-----------------------------------|----------------------|------------------------------|
| 近畿  | 奈良県  | 維持工事 | 3                     | 418                                | 340                               | 78                   | 26                           |
| 四国  | 徳島県  | 維持工事 | 2                     | 143                                | 110                               | 33                   | 17                           |
| 四国  | 徳島県  | 維持工事 | 2                     | 158                                | 137                               | 21                   | 11                           |

## ■ 固定的経費を計上した工事への費用計上に関するアンケート結果

○ 固定的経費の計上した工事3件のうち、2件は固定的経費で算出された金額は妥当、残る1件は固定的経費で算出された金額は少なかったと回答。

○ 固定的経費で算出された金額は少なかったと回答した工事についても、固定的経費の積算方法に関して、改善すべき点は無いと回答。

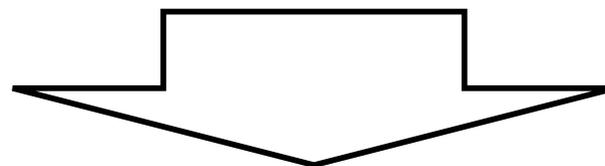


○ 上記より、固定的経費の算出作業における、早急に対応が必要な問題点は生じていない。



# 今後の実施方針(案)

- 道路除雪工における新たな積算方法を試行した結果、令和3年度は降雪量が多かったこともあり、固定的経費に基づく契約変更を行った工事は4件であった。
- 道路除雪工事における新たな積算方法を試行し費用計上した工事については、固定的経費の試算結果について、大きな問題は発生していない。
- また、アンケートを実施したが、本試行を希望した会社がまだ少なく、改善すべき点の意見が少なかった可能性もある。



新たな積算方法を広く周知しつつ、引き続き試行を実施し、フォローアップしながら、積算方法の改善を検討